

2022年3月22日

誘導結合プラズマ質量分析装置 ICP-MS 7850 使用に関して

利用規定

各研究室の利用責任者から操作法の講習（オペレーター制度）を受け、操作法を熟知した者に対してのみ、使用を許可します。各研究室オペレーターは利用責任者を含めて3人までです。利用責任者は各研究室の先生（指導教員）から指名を受けて構成されます。

基本ルール

- a) 利用責任者から機器の取り扱いや操作方法をしっかりと教わる。
- b) 装置本体の主電源は触らない。
- c) サンプル溶液は、必ずミニザルトなどを通して沈殿物を予め取り除く。
- d) 有機溶媒や塩基を混入させない。
- e) 高濃度サンプル溶液（>数 ppm）は希釈して導入する（検出器が汚染される）
- f) 洗浄液（希硝酸、希王水）の濃度は3%程度とする。塩酸や硫酸は使用しない。
- g) 測定前にチューニングを行い、チューニングレポートの pdf データを保存する。
- h) 使用後は、プラズマ消灯及びアルゴン、水素、ヘリウムガスの元栓が閉まっていることを確認し、オートサンプラー及びPC本体の電源、循環冷却装置の主電源を落とす。
- i) 測定後は必ず必要事項を使用ノートに記載する。

トラブル時の対応

- [1] 各研究室の利用責任者に確認を取る。トラブルを確認し、当該使用者がルールに則り、機器を扱えているか確認する。使用方法が間違っていたら、再度使用方法の講習をする。
- [2] 利用責任者だけで対応出来ない場合、根岸研 ICP-MS 担当 (5769) まで連絡する。
- [3] トラブル頻繁、改善見込みがなければ当該研究室の使用停止措置をとる。
- [4] トラブルが起きた際は、使用ノートに詳細を記載する。

※直接 Agilent に連絡することは厳禁

利用時間帯

使用時間できる時間帯は、月~土の 10 時~22 時とする（当研究室が対応できる）が、実績を積んだユーザーには、順次それ以外の時間帯でも利用可とする。

利用料金（単価）

1 時間あたり 1000 円を徴収する。利用状況によって、使用料を変更する場合がある。その他、装置使用に関して必要な消耗品については、別途、各研究室にて負担する。